

【桂川駅周辺配置図】

駅舎等の整備概要

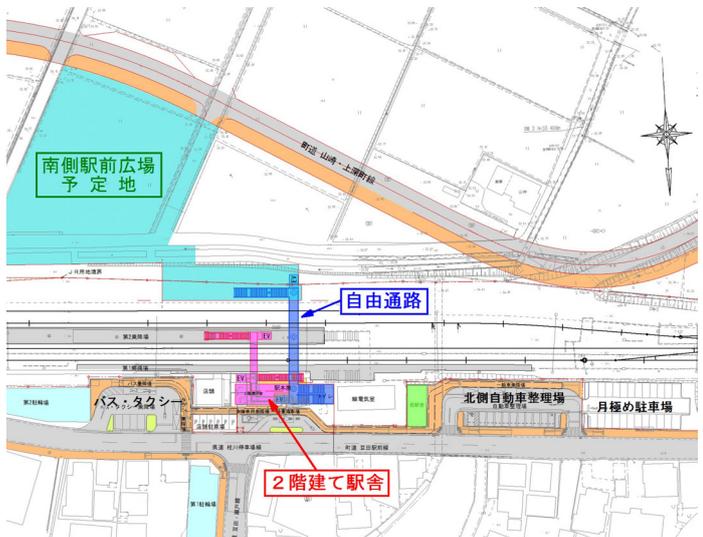
上記の桂川駅周辺配置図（鳥瞰図）は、今回の事業で新しく整備される自由通路等の位置関係を示したものです。

今回、駅の南北をつなぐ自由通路の設置に伴い、現在のJR桂川駅の駅舎を撤去する必要がありますが、改札口が2階にある桂川駅舎及びエレベーターを備えた駅内跨線橋が新たに整備される予定です。

自由通路の建設着工予定は、平成30年度下半期で、完成は約2年後を予定しています。現在、これらの工事に係る総事業費は約9億円を見込み、その約5割については国の交付金等の財政措置を活用し、町の負担を軽減することとしています。また、残りの事業費については、地方債を利用します。地方債償還期間は20年を予定しています。

現在、桂川駅周辺はJRの鉄道の南北で形成されています。駅の利用は北側からのみであり、駅前の道路や広場も幅員が狭小であるため、通勤・通学の送迎時にはアクセス集中による交通渋滞が発生するなどの課題を抱えています。

これらの課題は、この自由通路等の整備により、大幅に解消されることが期待されます。



【桂川駅周辺整備の平面図】

ふーむ。これだけ駅周辺が便利になれば人の流れも変わりそうだね。

そうね。特に、駅の南北をつなぐ自由通路ができることで、町にいろんな変化が生まれるかもしれないわ。

未来ちゃん！その自由通路の中を早く通ってみたいよ。

うふふふ。それじゃ、特別に、自由通路のイメージ図を見せてあげるわね。